

健康社会研究センター ニューズレター 第 3 2 号

2013. 11. 29 発行

◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 研究費採択のお知らせ
- 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 プレスリリース

- ・ 30%以上の高齢者が、歯が少ないにもかかわらず入れ歯を使っていない (2013 年 9 月)

歯が少なくても、入れ歯を使っている人では、使っていない人よりも、4 年後の転倒や認知症が少ないことが報告されている。そこで、宮城県 I 市の 65 歳以上の高齢者 8,576 名を対象に調査を行なったところ、歯が 19 本以下の人 2,650 名の中で、入れ歯を使っていない人が 31.2%いた。また、入れ歯の使用率は所得により異なり、低所得層は入れ歯を使っていない人が多かった。ただし、例外的に、最低所得層は入れ歯の使用率が高かった。

<詳細はこちら> <http://cws.umin.jp/press-releases/044.pdf>

2 主な研究成果発表

<論文等>

- ① Takeo Fujiwara, Katsunori Kondo, Kokoro Shirai, Kayo Suzuki, Ichiro Kawachi: Associations of childhood socioeconomic status and adulthood height with functional limitations among Japanese older people: Results from the JAGES 2010 Project. *Journal of Gerontology* (first published online: November 27, 2013) doi: 10.1093/gerona/glt189
- ② 齊藤雅茂, 近藤克則, 尾島俊之, 近藤尚己, 平井寛: 高齢者の生活に満足した社会的孤立と健康寿命喪失との関連; AGES プロジェクト 4 年間コホート研究より. *老年社会科学* 35(3): 331-341, 2013
- ③ 近藤克則: 健康格差社会への処方箋. *民医連医療* No. 494: 50-55, 2013. 10
- ④ 伊藤美智予, 伊藤大介, 鈴木亮子: 認知症ケアマネジメントにおける医療と介護の連携の現状と課題—医師からみたケアマネジャーとの連携への評価. *日本認知症ケア学会誌* (印刷中)
- ⑤ 伊藤美智予, 鈴木亮子, 伊藤大介: 認知症の人が活用しているインフォーマルサポートの種類と機能—認知症ケアマネジメントへの示唆. *日本認知症ケア学会誌* (印刷中)
- ⑥ 岡田栄作, 近藤克則: 社会疫学から見るストレスとストレス反応. *Surgery Frontier* 20(4), 2013 (印刷中)
- ⑦ 和田有理, 他: AGES プロジェクトのデータを用いた GDS5 の予測的妥当性に関する検討—要介護認定, 死亡, 健康寿命の喪失のリスク評価を通して—. *厚生*の指標 (印刷中)

<学会等 (JAGES 関係) >

- ① T Ojima, S Hashimoto, I Tsuji, H Tsutsui, T Noda, M Nakamura, K Kondo, M Lagergren, H Van Oyen, JM Robine: Healthy Life Expectancy in Japan and comparison with EU. 6th European Public Health Conference, European Public Health Association, 14 November 2013, Brussels, Belgium
- ② Chiyo Murata, Kayo Suzuki, Tami Saito, Hideyo Tsutsui, Seungwon Jeong, Katsunori Kondo, Takao Suzuki: Socio-economic status and patient-physician communication among the older Japanese: Japan gerontological evaluation study. The 141st APHA Annual Meeting (Boston, USA) November 2-6, 2013

- ③ 伊藤美智予, 近藤克則: 特別養護老人ホームにおけるケアの質評価指標の開発—訪問調査による妥当性の検証—. 第 51 回日本医療・病院管理学会学術総会, 2013. 9. 27-28, 京都
- ④ 近藤克則 (座長): オーガナイズドセッション「健康格差の「見える化」. 演者: 近藤克則 (日本福祉大学), 狩野恵美 (WHO 健康開発総合研究センター (WHO 神戸センター)), 尾島俊之 (浜松医科大学医学部健康社会医学講座), 近藤尚己 (東京大学), 相田潤 (東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野), 鈴木佳代 (日本福祉大学健康社会研究センター). 第 51 回日本医療・病院管理学会学術総会, 2013. 9. 27, 京都
- ⑤ 宮國康弘他: 地域レベルにおけるソーシャル・キャピタル指標と要介護リスク指標の関連分析. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 25, 三重
- ⑥ 近藤克則他: 地域づくりによる介護予防のためのベンチマークシステム開発: JAGES プロジェクト. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 25, 三重
- ⑦ 尾島俊之他: 老人クラブの健康格差縮小効果. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑧ 石川善樹他: 社会参加における役割が死亡率に与える影響: AGES コホートデータ. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑨ 引地博之他: 災害被災者の惨事ストレス反応と新たな生活への適応: ソーシャルサポートの効果. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑩ 相田潤他: 高齢者の無歯顎の地域格差とソーシャルキャピタルの関連: JAGES プロジェクト. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑪ 芦原ひとみ他: ソーシャル・キャピタル指標と自殺率との関連性—JAGES プロジェクト—. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑫ 齊藤雅茂他: 健康指標との関連からみた高齢者の孤立基準の検討: JAGES4 年間コホート研究より. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑬ 近藤克則: 鼎談 (座長)「介護医療と公衆衛生」, 第 72 回日本公衆衛生学会総会「変革期我が国の公衆衛生学の現状と課題—隣接諸科学との対話」, 三重, 2013. 10. 24
- ⑭ シンポジウム V (司会: 近藤克則)「グローバルヘルスにおける健康格差とソーシャル・キャピタル」. 登壇者: 井上肇 (厚労省健康局肝炎対策推進室長 新型インフルエンザ対策推進室長), 狩野恵美 (WHO 健康開発総合研究センター, WHO 神戸センター), 澤田康幸 (東京大学大学院経済学研究科 教授) 第 28 回日本国際保健医療学会学術大会, 名桜大学 (沖縄県), 2013. 11. 3
- ⑮ 近藤克則: 専門医会企画パネルディスカッション「リハビリテーション・データベースの到達点と課題」, 第 8 回日本リハビリテーション医学会専門医会学術集会「臓器別診療科との対話」, 札幌市, 2013. 11. 9
- ⑯ 岡田栄作, 近藤克則, 鈴木佳代, 引地博之, JAGES メンバー: 地域診断のための日常生活圏域ニーズ調査の保険者・地域間比較分析ツールの開発~JAGES 参加 25 保険者での地域診断書作成の試み~. 第 65 回北海道公衆衛生学会, 2013. 11. 15, 札幌市生涯学習センターちえりあ
- ⑰ 鈴木佳代: 壮年期の逆境的ライフイベントに関するライフコース分析~ 高齢者のナラティブから~. 第 68 回日本社会学会 2013. 10. 13, 東京

<学会等 (その他) >

- ① フォーラムⅢ (企画: 樋口倫代)「東ティモール~破壊からの復興・開発と保健」. 第 28 回日本国際保健医療学会学術大会, 名桜大学 (沖縄県), 2013. 11. 3
- ② パネルディスカッション「国際保健医療の人材育成を考える ~4 つの世代から見る過去と未来~」指定発言: 宮國康弘 (日本福祉大学大学院) 他. 第 28 回日本国際保健医療学会学術大会, 名桜大学 (沖縄県), 2013. 11. 3
- ③ 今村晴彦他: 小地区単位でみたソーシャル・キャピタルと健康の関連. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 25, 三重
- ④ 山谷麻由美他: 行政保健師の地区組織活動の現状と課題 (その 2). 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ⑤ 大裏瑞穂他: 関節リウマチ患者における治療格差—疾患重症度および社会経済階層と総医療費の関連—. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重

<その他>

- ⑥ Lohas Medical vol.98 にて山本龍生先生（神奈川歯科大学）の研究結果が紹介されました。「認知症を知る 18 義歯を使わないと発症リスク上がる」
http://lohasmedical.jp/archives/2013/11/18_3.php

<講演等>

- ① 近藤克則：健康格差と住民の底力（ソーシャルキャピタル）～健康を支える社会環境の整備～. 田原市健康都市推進研修会, 2013. 11. 18, 田原市
- ② Expert Consultation on Urban Health Equity Assessment and Response Tool (Urban HEART), 神戸, 2013. 11. 6-8
- ③ 近藤克則：講演「健康格差社会を超えて～人の絆で健康長寿社会を築く～」, 第 45 回沖縄県公衆衛生大会, 沖縄県, 2013. 11. 1
- ④ 近藤克則：日常生活圏域ニーズ調査の活用法～介護予防を中心に～. 政策実務系・専門実務研修「介護保険事務～制度と運用～」, 財団法人全国市町村研修財団（全国市町村国際文化研修所）, 2013. 10. 9, 滋賀
- ⑤ 近藤克則：被災地域の健康づくりとソーシャル・キャピタル. 宮城県看護協会保健師職能研修会 「健康格差社会と地域における健康づくり」, 2013. 10. 5, 宮城
- ⑥ 岡田栄作：社会疫学研究におけるバイオ統計学の可能性. 第 12 回久留米バイオ統計フォーラム, 2013. 9. 27, アクロス福岡

3 研究費採択のお知らせ

- ・公益財団法人琉球大学後援財団「教育研究奨励事業」
研究課題：地域の絆と健康についての社会疫学的分析：Social Capital のメカニズム検討
研究代表者：白井こころ（琉球大学法文学部）
- ・日本心理学会「東日本大震災からの復興のための実践活動及び研究」助成金
研究課題：被災地のソーシャル・キャピタルと精神的問題：パネル分析による検証
研究代表者：引地博之（日本福祉大学健康社会研究センター）
- ・公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 第 22 回（平成 25 年度）研究助成（国内共同研究）
研究課題：地域社会要因が生活習慣と独立して高齢者の認知機能に及ぼす影響
研究代表者：鶴川重和（北海道大学大学院医学研究科）
- ・明治安田厚生事業団健康科学研究助成
研究課題：居住地域環境が高齢者の日常における身体活動に及ぼす影響
研究代表者：森永幸子（北海道大学大学院医学研究科）

4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- ・JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。
 - ・12月8日（日）国際シンポジウム 名古屋国際会議場
 - ・12月10日（火）東京大学本郷キャンパス
- 2014年・1月5日（日）東京大学本郷キャンパス
- ・2月11日（火）東京大学本郷キャンパス
- ・3月9日（日）日本福祉大学名古屋キャンパス

日本福祉大学
健康社会研究センター
<http://cws.umin.jp/>



名古屋市中区千代田 5 - 22 - 35
名古屋キャンパス北館 7 階
[Tel:052-242-3074](tel:052-242-3074)
Fax:052-242-3076

ニュースレター第32号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-manami*n-fukushi.ac.jp
(泉)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニュースレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。